

## ふれあい祭りが文化講演会にあわせて開催されました NIAの活動をパネルと解説で来場者にアピールしました

文化講演会に引き続き、中央公民館集会室でふれあい祭りが開かれました。今回のふれあい祭りは、習志野市国際交流協会各部会の活動をパネルに掲示して市民のみなさんへのPRです。文化講演会の来場者の多くが1階下の会場に足を運んでくださり、それぞれ自由に掲示を見て回っていました。

展示パネルは各部会の会員による手作りの力作で、パネルの前では、協会のボランティアの熱心な説明に聞き入っている方も少なく、PRに手応えを感じさせました。中には、「姉妹都市のことは知らなかった。若い人の海外経験は応援したい。ぜひ続けてほしい」との励ましや、「市内の外国人が増えていて、日本語教室の役割はこれから大きくなる。ボ

ランティアで教えるのは意義のあることだ」などの賛同を示してくださる方、また、活動に興味を示してくださる方も見受けました。

さらに、来場者には三角クジでインドのグッズや封筒などをプレゼント。そこには笑顔が生まれていました。会場の一角にはインドの衣装や工芸品も展示され、国際色を醸し出していました。

限られた時間と空間でしたが、市民にはそれなりの関心があることを再認識するとともに、まだまだ協会が知られていない状況も見て、このような案内の機会をできるだけ増やす必要を感じました。

(報告：広報部会 秋山 勝)



展示パネルに見入る来場者。手前はインドの民族衣装



インドの衣装や工芸品を展示